



あまうが通信

あまうが(アモーガ)とは真実

第121号 令和元年12月15日発行

発行所 ひょうたんから融通尊寺 〒651-0093 神戸市中央区二宮町4-8-14

電話078-221-5136

発行人 住職 宇喜多 智弘(うきた ちこう) メール yuzusonj@gmail.com

FAX 078-221-9256

HP www.yuzusonji.or.jp

携帯 090-1480-4400

節分会 令和2年2月3日(月曜日)

午前8時から午後8時まで自由にお参りくださいませ。

融通尊寺本堂にて

せつぶん

節分特集号

命は命でしかあがなえません。そして、命は一つです。一つというのは、①生まれて来た命は、かけがえのない、いちどきりの命を生きる、という意味と、②この世の中のすべての神様仏様、生き物や石や木や水、あらゆる存在は、一つの命の現われであるという意味があります。

なぜこんなことを書くのかと言いますと、毎年、節分に、沢山の方々が、寒い中、遠いところをお参りくださってるのを拝見して「この方々は融通さんの、お使いだなあ」と思うからです。節分の御本尊は融通さんです。その融通さんにお参りされる方の命と融通さんの命が、一つに溶け合っていると思うのです。みなさまが笑顔でお参りされます事を楽しみに、お待ち申し上げます。

2月3日に授かれる融通御守護の種類とお初穂料

当日はご希望の方にお守りをお授けさせていただいております。

瓢箪守護…五千円(融通守護の本体で家で安置、置くだけで家族全員安心です。本物の天然ひょうたんから手作りしております、生きています御守です。初回のみ千円のお厨子=ケースを購入してください。お返りは次回からも使い続けられます。御守護はすべて一年で受け替えてください)

扇子守護…三千円(人との交渉、競争、入院、手術、受験、面接、お見合いなどの時に携帯する)

肌守護…五百円(瓢箪の模様入。肌身離さず財布にいつも入れておく)

福種銭…五十円(新しいスタート、商売の元手などに混ぜて使うと、万倍になって還ってくる)

御団…千円(食べられる御守。お供えをしたり、お加持を申し込むといただけます)

ウラ面に星祭のご案内をしておりますが、星祭と融通守護はどう違うのでしょうか？

☆星祭は、個別の星とお名前を逐一お星様に読み上げて報告(ここがミソです)し、運命を浄化していただき、御札には数え年と、名前が書いてあります。

※融通守護は星祭で清まった命の土台に幸福を植え付ける種まきです。無限の富と如意【意の如く=思い通り】の幸福という実りを約束してくれるのが、融通さんなのです。

2月3日の節分に融通尊寺にお参りいただきますと、甘酒や福豆をふるまっております。甘酒や福豆を召し上がっていただきますと、それだけで福を授かる事が出来ます。

よくある質問：2月3日は行けないので、前日までに先に御守をいただけないか？

答え：節分はいわば初詣です。初詣を年内に出来ないのと同様に2日はお渡し出来ません。3日來れない方は、4日以降にお寺に電話予約してお参りしてください。喪中の方は四十九日がおわってからお参りください。どうしてもお参りできない方は郵送もできますのでお申し出くださいませ。

法話会・写仏・行事のお知らせ いつからでも誰でも参加大歓迎無料です。

令和2年2月15日(土曜)2時 写経写仏会

2月23日(日曜)3時 法話会